

障がい者、児の人権を考える市民のひろば

# ひろば新聞



## 「ひろば新聞」とは？

毎年12月に中央公民館で開催している「障がい者、児の人権を考える市民のひろば」に関する団体、事業所の人たちや障がいのある人たちの思いを伝えるための新聞です。子供から大人まですべての人に読んでほしい。差別のない、人権意識の豊かな環境を作りたいと目的としています。

### ①ひろばの誕生

今年で35回目のひろばは、長岡京市身体障がい者団体連合会（長障連）が中心となって取り組んでいた文化の集いがスタートでした。今では実行委員会ができ、長障連だけでなく、ボランティア団体や事業所など様々な人々が関わっています。

## 「ひろば」って何？



### ③ひろばの気持ち

多くの人に少しずつ関わって、障がい者の問題も理解していただけたと思うと共に、障がい者の自立意識も変わってきたのでは、と思っています。

### ②ひろばの成長

来場者は、始めは長障連の関係者ばかりでしたが、市やボランティア団体、障がい者関連の事業所も加わって、実行委員会で行きわたるようになり、一般の人にも来て下さるようになりました。

坂口 喜治さん

(肢体障がい者協会)

長障連の内の4協会の1つ、肢体障がい者協会会員。ひろばの始まりから活躍。現在も会員として障がい者スポーツ「卓球バレー」等で活動中。

### ④ひろばへのこれからの期待

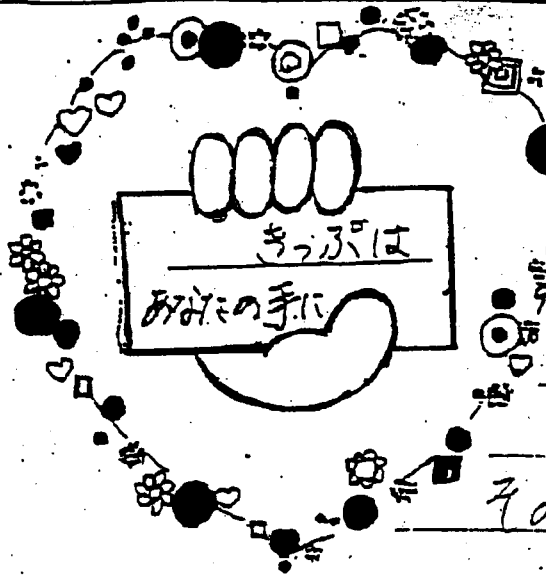
ひろばやひろばに関わっている人たちのことをいろいろな人に知ってもらって、出会いのきっかけになってほしいと思っています。今年は新しい企画がたくさんあるので楽しんでいただけるのではと思います。

## ひろば今昔

ひろばにふれてー。 E.J.さん(長岡京市職員)

ひろばの事務局を7年担当させていただきまして、はじめは団体の皆さんの顔も名前もわからず、右往左往していた気がしますが昔は学校のグラウンドを借りて「みんなが楽しめるひろば」とかお発案だったと聞きまして、最近では会場も定着し、おおよその形はあるものの、毎月打ち合わせを重ねて、手づくりで積み重ねていく中で、思いがけないアイデアがでてきたり、運営する人も、参加する人も楽しいひろばであり続けて欲しいですね。

# ひろばいぶんからの誘いです！



在室の仲間のみなさん。

『最初の一歩』踏み出しましょうよ。

12月8日(土) 『ひろば』に

ぜひお出かけください。

活き活き笑顔の仲間が待っています。

かけがえのないあひらの

その一歩を待っています。

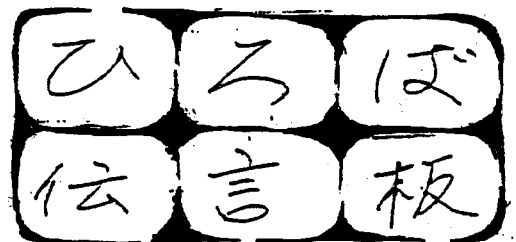
\*関連団体による展示・販売・ステージ発表、車いす体験・相談、障がい者相談、模擬店、さわり織り体験(コースター作り)など楽しい企画がいっぱいあります。詳しくは12月1日号の広報長岡京をご覧ください！長岡京市公式ホームページトップページの「イベント情報」からも12月8日のひろばの内容が見られます。

みんなで力を合わせた「ひろば」開催です。

そんな「ひろば」の関連団体を紹介します。

長岡京市視覚障害者協会	長岡京市肢体障がい者協会	長岡京市難聴者協会
長岡京市ろうあ協会	乙訓点訳サークル	さわる絵本の会「さわっちゃ絵」
朗読ボランティア「なごみ会」	ガイドヘルパー「ともしび」	乙訓要約筆記サークル「ラビット」
乙訓手話サークルでんでん虫	乙訓障害児父母の会	乙訓手をつなぐ親の会
知的障がい者相談員	乙訓福祉会	やよい工房
乙訓若竹苑	あらぐさ福祉会	乙訓障害者事業協会
地域生活支援センターアンサンブル	長岡京市女性の会	長岡京市少年少女合唱団
乙訓障がい者地域生活支援センター「キャンパス」	長岡京市要約筆記サークル『エスペランサ(希望)』	
長岡京市人権啓発推進協議会	長岡京市社会福祉協議会	長岡京市障がい福祉課

「ひろば新聞」は、ひとりでも多くの方が、社会参加  
 され仲間と一緒に活き活き活動していただきたい。  
 その一念での情報発信信紙です。  
 次号は、第35回ひろばの交流の様子を  
 お届けする予定です。お楽しみに！



発行・編集のひろば実行委員会

\*タイトルは肢体障がい者協会の三好俊昭さんに書いていただきました。

ひろば・団体などについてのお問い合わせは長岡京市役所障がい福祉課へ  
 TEL: 075-955-9549 FAX: 075-952-0001  
 メール: syougai Fukushi@city.nagaokakyo.kyoto.jp